

～夜の活動～

# 肝試し

福岡市海の中道青少年海の家  
2022年12月7日改訂

## 1.活動概要

暗闇の中で仲間と励まし合いながら、海の家周辺の散策路を歩きます。

## 2.めあて

【自然に学ぶ】

○（本物に触れる）

・暗闇の中で、五感を使って自然を感じる。

【人とのつながり】

○（仲間・協力）

・仲間と暗い散策路を進み、絆を深める。

【自分を高める】

○（精神力・忍耐力）

・勇気をもつことや、思いやりをもって行動することの大切さを学ぶ。



## 3.準備

【1】準備物

海の家：衣装

団体：救急用品、懐中電灯（班に1つ）、お化けの衣装などの必要物品

【2】引率者の役割

○ 安全管理

○ 下記の役割分担と人員配置

・お化け役（コースや必要に応じて数人）

・散策路分岐点での進行指示（コースに応じて数人）※お化け役が兼ねても良い

・スタート地点（最低1人）

・ゴール地点（最低1人）

【3】班編成

6人程度

## 4.実施上の留意点

○ 事前に必ず、コースの下見をする。

※施設で設定しているコースはあるが、独自で決めても良い。

○ 時期によって日暮れの時刻が違うので、そのことを踏まえて開始時刻を設定する。

※他団体との調整が必要な場合があるため、施設職員に相談する。

○ 集合場所に活動部屋が必要であれば、施設職員へ相談する。

○ 安全上、あまり強く驚かさない。

○ 研修生・引率者が怪我をしないように、事前に安全指導を行う。

※諸注意

① 走らない。

② コース以外歩かない。

③ 懐中電灯は、人の顔に向けて使用しない。

○ 宿泊室内の常備灯は絶対に使用しない。

○ 出発の際は、班と班の間隔を2分程度空けると良い。

○ 活動終了後は、人数の確認をし、終了したことを事務室へ報告する。

5.活動のながれ

◎…引率者の動き ○…研修生の動き ▼…施設職員の動き

目安時間	活動内容	留意点
準備 (30分)	◎コースの確認をし、お化けの準備をする。	●引率者間で、コースやお化けの場所、安全管理をする。  ※外灯を消す必要がある場合は、事前に施設職員に相談をする。
全体説明 (5分)	◎活動について説明する。 ○話を聞く。	●諸注意 ①走らない。 ②コース以外歩かない。 ③懐中電灯は、人の顔に向けて使用しない。
移動 (10分)	◎お化けのスタンバイができ次第、スタート地点へ引率する。 ○スタート地点へ移動する。	※出発前に怖い話をしても良い。
活動 (40分～70分)	◎班ごとに、間隔を空けてスタートさせる。 ○班ごとに出発する。 ◎安全管理をする。 ◎ゴール地点で、ゴールした班のチェックをする。 ○ゴールしたら、引率者のチェックを受ける。 ◎全班ゴールしたら、集合させて人数確認を行なう。 ○集合する。	●ゴールした研修生の安全管理・指導をする。  ※ゴール後の集合場所に、活動部屋が必要な場合は事前に施設職員に相談をする。
まとめ (5分)	◎まとめをする。 ○話を聞く。	※必要であれば、お化けの紹介などを行なう。
移動	◎研修生を宿泊室に移動させ、事務室に活動が終了したことを伝える。 ○宿泊室に戻る。	

a. 対象学年	: 小学生以上 ※未就学児は要相談
b. 定員	: なし
c. 関連教科	: 特別活動
d. 実施可能時期	: 通年
e. 実施可能な天候	: 荒天時以外
f. 所要時間	: 1時間30分～2時間程度 ※班数による 〈Aコース〉20分程度 〈Bコース〉30分程度
g. 実施場所	: 散策路